



～ 助け合いとふれあいの明るいまちづくり～

さわやかな初夏の季節の中、自宅を訪ねたところ、笑顔で迎えていただいた。大正15年神戸に生まれる。海運会社に入社、昭和20年に軍隊へ入るがわずか6ヶ月で終戦となり復社する。30年前に平塚に住み、現在に至る。昭和61年若宮ハイツ管理組合理事長となり、同時に民生委員として6期18年間、昨年11月まで活躍される。また、平成7年旭南地区社協会長に就任、

今年で11年目になる。

趣味は園芸。ベランダには、色々な盆栽や観葉植物が飾られていた。観葉植物は自分で挿し木をして根を付け、植え替え、剪定し育てるとのこと。

他にも、30年前よりはじめた月1回のゴルフと毎晩2合の晩酌が健康の源で、今まで健康保険証を使ったことも無いほど健康とのこと。

好きな言葉は『おもいやり』。その言葉の温かさが好きだとのこと。園芸も地域活動もおもいやりを持ってするのだという。

旭南地区の大きな活動として、近隣の地域作業所の協力を得て行なう、在宅の身障者と地域住民との交流をはかる『ふれあい広場』と73歳以上対象の『敬老のつどい』を実施している。

また、様々な住民ニーズに合ったイベントを行なっているが、もっともっと増やしていきたい。皆が集まり、いつでも使える場所が欲しい。旭南地区のこれからのためには、やはり「拠点」が必要なのだと強く訴えられた。

その様な現状の中、寝たきり・一人暮らし高齢者等の災害弱者対策委員会を設置。これは、民児協と共同でマップ作りをし、各自治会へ保管を依頼し、受け持ちの方々が災害時にすばやく安否の確認や救援活動ができるようにしているとのこと。

最後に地域の中で『民生委員』は、知っていても『社協』をあまり知らない方が多い。皆さんに地区社協がどのような活動をしているのか事あるごとにもっとPRしていきたい。地区の特性で社会福祉施設が多くあることから、各施設と民児協、各自治会と互いに連携を取り『明るいまちづくり』を目標に、これからも活動していきたいとおっしゃっていた。

街の声

「スペシャルオリンピックス」を観戦して

田村地区 松尾 一博

2月2日(日)から2日(月)の1泊2日で長野を中心に行なわれた「スペシャルオリンピックス冬季世界大会」を観戦しに行ってきました。

私が長野に足を運ぼうと思ったきっかけは、昨年10月に総合公園で行なわれた「500万人トーチラン」を見ていて興味を持ったからです。

現地では「EMUウェブ」で「スピードスケート」を観戦しました。転倒しても最後まであきらめずゴールを目指すアスリートの姿に感動しました。

また、当日は「FMナバサ」のスタッフの方の協力で、現地からレポートさせ

ていただきました。ナバサスタッフの皆様ありがとうございました。

「社会におけるバリアフリー化」が盛んになっていますが、まだまだ障害者に対する健常者の方の「心のバリアフリー」は、受け入れてくれる方が数少ないのが現状です。「健常者」と「障害者」が「お互いを理解し、共に生きる」ということが、早くも達成できるといいなと競技を見終わってそう思いました。

健常者の皆様もどうか「他人ごと」と思わずに「あたたかい眼」で「障害者」と接してあげてください。よろしくお願いします。

インフォメーション



各種お問合せは 平塚市社会福祉協議会 ☎ 33-2333まで

平成17年度夏・秋 ボランティア活動ガイドの配布について

ボランティアセンターでは、夏休みに向けて『ボランティア活動ガイド』を作成しました。説明会参加者に配布しますので、ご希望の方は下記の日程から、ご都合の良い日を選んで参加してください。

- 日 程 7月4、5、6、7、8、11、12、14、19、21、25 全11回
- 時 間 16時～17時
- 場 所 平塚市追分1-43 平塚市福祉会館内 会議室
- お問合せ 平塚市社会福祉協議会 地域福祉活動支援グループ ボランティアセンター TEL 33-2333 FAX 30-3312

福岡県西方沖地震災害 義援金の報告・お礼

4月1日から5月末まで、市社協関連施設の窓口に設置した募金箱と3団体からいただいた義援金を福岡県共同募金会に送金させていただきました。皆様の温かいお心に対し、お礼申し上げます。

- 神奈川県共同募金会平塚市支会
- 三共化成富士見宅自治会
- シローバーカンパニー
- 神奈川県立平塚農業高等学校
- 福祉会館、南部福祉会館、白寿荘、七国荘、ファミリー・サポート・センター
- 合計 47,920円

町内福祉村事業



平成17年4月2日、城島ふれあいの里がオープンされました。多くの支援ボランティアの方が登録されたことで活動拠点として大いに期待されます。

賛助会員加入のお知らせ

現在、各地域の方々の協力を得て、賛助会員の募集を行なっています。この賛助会員は、地区社協を単位とした市民や企業の皆様のご協力により年々会員数・会費とともに増加しています。

そして、集められた賛助会費の75%が各地区社協に還元され、地区福祉活動の重要な財源となっています。今後とも、地区福祉活動充実のためにご協力をお願いいたします。

編集後記

今号より横書きに生まれ変わりました。見やすさ読みやすさは、どうでしょうか？ 皆様のご意見お待ちしております。